

## 総合リハビリテーションセンター病院部門の主な課題について

## 病床利用率及び収支比率について

- 病床利用率及び収支比率は上昇傾向にあるものの、引き続き利用率の向上を図る必要がある。

## 【参考】病床利用率の推移

	H26 年度実績	H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績
第 1 病棟	43.3%	39.3%	48.5%	67.9%	76.2%
第 2 病棟	62.3%	61.0%	62.0%	68.1%	70.7%
第 3 病棟	72.9%	75.6%	86.3%	86.1%	88.2%
合 計	60.2%	59.6%	66.6%	74.5%	78.7%

収支比率の推移(リハビリテーションセンターは一般会計で運営しているため、収支比率は試算値)

	H26 年度実績	H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績
収支比率	48.6%	51.4%	54.6%	58.2%	59.9%

東京都及び近県類似病院における平成 30 年度の病床利用率と医業収支比率

	名 称	病床数	病床利用率	医業収支比率
栃木県	栃木県立リハビリテーションセンター	120床	79.2%	64.9%
千葉県	千葉リハビリテーションセンター	242床	91.6%	84.3%
東京都	東京都リハビリテーション病院	165床	90.3%	78.3%
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	280床	89.9%	77.2%
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	120床	78.7%	59.9%

## 医師の確保について

- 医師の確保が困難であり、確保に向けた取組を行っているものの、なかなか採用につながらない。

## 【参考】診療科別欠員状況

時 点	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1
欠員数	3人 整形外科：1人 リハ科：1人 脳神経外科：1人	4人 整形外科：2人 神経内科：1人 脳神経外科：1人	3人 整形外科：2人 脳神経外科：1人	3人 整形外科：2人 脳神経外科：1人

**リハビリテーション専門職の増員について**

- 病床利用率が改善している状況において、理学療法士などのリハビリテーション専門職の職員定数を増やすことが困難なことから、患者 1 人あたりのリハビリテーション提供単位数が減少している。

**【参考】入院患者 1 人あたり 1 日のリハビリ提供単位数（平均）**

	H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績
提供単位数(回復期)	5.71 単位	5.73 単位	5.81 単位	5.76 単位
〃 (その他)	3.52 単位	3.53 単位	3.61 単位	3.59 単位

**アクションプランで定める達成目標**

	H30 年度目標	令和元年度目標	令和 2 年度目標
提供単位数(回復期)	5.9 単位	6.3 単位	7.0 単位
〃 (その他)	3.7 単位	4.1 単位	4.5 単位

**手術件数の減少について**

- 整形外科医師の確保が難しいこと等から、手術件数が減少している。

**【参考】手術件数（医科）の実績**

	H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績
手術件数（医科）	81 件	89 件	62 件	64 件

**アクションプランで定める達成目標**

	H30 年度目標	令和元年度目標	令和 2 年度目標
手術件数（医科）	80 件	90 件	100 件

**医薬品などの調達費用について**

- 病院局所管の 4 病院においては、共通で購入している医薬品や給食材料などを一括調達することで調達費用の抑制を図っているところであるが、総合リハビリテーションセンターについては単独で行わざるをえないことから、スケールメリットを生かした調達費用の抑制が困難である。

**事務局職員の専門性について**

- 事務局職員は主に 2～4 年程度のサイクルで異動するため、特に医事担当など高度な専門性が求められる部署について知識の習得及び活用が困難である。